

H22補正

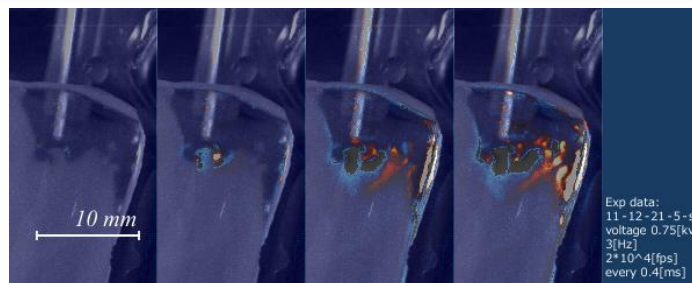
# 最大限の病変摘出と機能温存を両立するパルスジェットメスの開発 東北大、東京大、産総研、スパークリングフoton(株)

## 織細臓器における最大限の病変摘出と機能温存の両立性

脳等の織細臓器における精密手術においては**最大限の病変摘出**と**機能温存(細血管や神経温存)**が重要である。現状の医療機器ではその**両立は困難**で、術者個人の**名人芸的技量**によるところが大きい。パルスジェットメスは原理的に生体組織の微小な弾性率差を用いた選択的組織破碎が可能な手術デバイスである。

## パルス液体ジェットによる組織破碎

微量の液体を高速に加速して生体組織に衝突させると局所的に変形が生ずる。歪はより柔らかい組織に集中し、組織破碎に至る。相対的に硬い組織は温存される。



## スパークリングフoton:レーザーの要素技術から自社開発して特殊分野へ事業展開

レーザー発振器に関する要素技術を自社開発し、防衛・発電などの分野で運用の実績を積んできた。パルスジェットメス用のレーザー発振器を開発し医療分野への展開を目指している。大手企業との連携により、H26年治験終了、H28年薬事承認、H29年販売開始の予定である。(東京都多摩市、資本金 1 千万円、従業員数 4人)

## パルスジェットメス

